

プライベート

# プライバシーとは

- 個人や家庭内の私事、私生活。個人の秘密。
- 他人から干渉、侵害を受けない権利。
- 個人的な日常生活や社会行動を他人に興味本位に見られたり、干渉されたりすることなく、安心して過ごすことができる自由

# プライバシーの具体例

- 個人を特定できる人物写真
- 個人の住所、電話番号
- 個人の住居地を特定できる写真や近辺の情報
- 個人の学歴、職歴
- 個人の犯罪歴や破産歴
- 個人の日記や私生活の情報

# 自分のプライバシーを守るため

- アンケート
- 掲示板・チャット・メーリングリスト
- ホームページ

# アンケート

- プレゼントや懸賞のサイトで、自分の住所、年齢、趣味などの顧客情報を入手して販売戦略を立てるのに利用している。  
→ 情報が漏洩する事件が多い。
- 顧客情報、特に特定の目的のために整理された顧客リストは、結構な値段で売れる。  
→ 入手した情報を他者に売る  
プライバシーを入手する目的で集める。

# プライバシーポリシー

個人情報の取扱いを適切に行っている民間事業者に対しては、「プライバシーマーク」や「個人情報保護マーク」をつける制度がある。



プライバシーマーク



個人情報保護マーク

# 掲示板・チャット・メーリングリスト

- ハンドル名(仮名)に注意

- 住所、大学などわかるような名前は避けること。

- 相手に気を許さないこと

- 例:女子大生だと名乗り、それらしい女の子らしい表現の文章を書いて実は40代の男性だった。

- トラブル対応

- 掲示板やメーリングリストで自分のプライバシーを暴かれたり、誹謗されたりするトラブル

# ホームページ

- 自分でホームページを作っている人はここからプライバシーが漏れたり、公表していることが多い
- ページ内容
  - 書いたことがフィクションであっても、それを見る人がどう解釈するかわからない
- 自己紹介
  - 自分のページの内容に正当な抗議をする手段を提供することは エチケット。  
少なくともメールアドレスは明示すべき
  - 不要な情報はできるだけ掲げないほうが安全

# 他人のプライバシー

- 案外気づかないで情報を洩らしていることが多い。
- SNSの場合、写真などの投稿によって友人のプライバシー情報を公開することがある。名前が出ていなくても自分の写真を使われたくないと思っているかもしれない。

# 他人のプライバシーを守る

- 他人のことには触れないのが安全。
- 情報を記入する際には当人の承諾を得ること。

## まとめ

- 本人がプライバシーであると思うことがプライバシーなのであり、他人が判断することではない。
- 自分のプライバシーだけでなく、他人のプライバシーも守ることが大事。
- 思いがけないことで自分、他人のプライバシーを洩らしている可能性がある。
- 他人のことを記入する際には本人の承諾を得ること。